



「集大成将棋」は、本将棋(日本将棋、将棋)(別売り)をより楽しんでいただくための拡張キット(付属品)となります♪  
 「集大成将棋」は、「あんちっく」考案のカードゲームで、古将棋&現代将棋&海外将棋&変則将棋の要素を盛り込んだ新しい変則将棋です♪(^ ^)  
 なお、一部の強すぎる駒は劣化、複雑すぎる駒は簡略化をしております。ご了承くださいませ! m(\_ \_)m

★「集大成将棋」の内容物について

- 表紙&説明書(本紙) ●カード収納用ビニール袋:3枚(各セット分)
- 1セット32枚のカード:3セット96枚(お徳用の第1, 2, 3弾の3セット)(注:白紙予備のカードあり♪)
- <1セットのカードの内訳>「歩」6枚、「香」「桂」「銀」「金」「角」「飛」各4枚、「カード無効化」2枚

★「集大成将棋」の流れ

[ページ:1]

- (1)「集大成将棋」のうち第何弾で遊ぶかを決定し、32枚のカードをシャッフルし伏せて「山札」とします。
- (2-1)本将棋(日本将棋、将棋)をベースとしています。初期配置も本将棋と全く同じです♪
- (2-2)ゲーム開始前に「山札」から歩香桂銀金角飛の7種類のうち3種類が出るまでカードを引き続け、3種類全てを「有効カード」としてルール説明図1のように盤の隣に置きます。  
 (※「種類が重複したカード」「カード無効化」は「捨札」へ捨てます。)  
 (※成りのカードは、不成のカードに分類されます。例えば、「と」は「歩」に分類されます♪)  
 カードは「有効カード」である間、対象の駒に「駒の動き変更」や「駒に特殊効果追加」の効果を与え続けます♪  
 (この効果は、自分の駒だけでなく、相手の駒にも及びます。)(カードの効果の詳細は2ページに後述。)

(3)手番では、本将棋でおなじみの

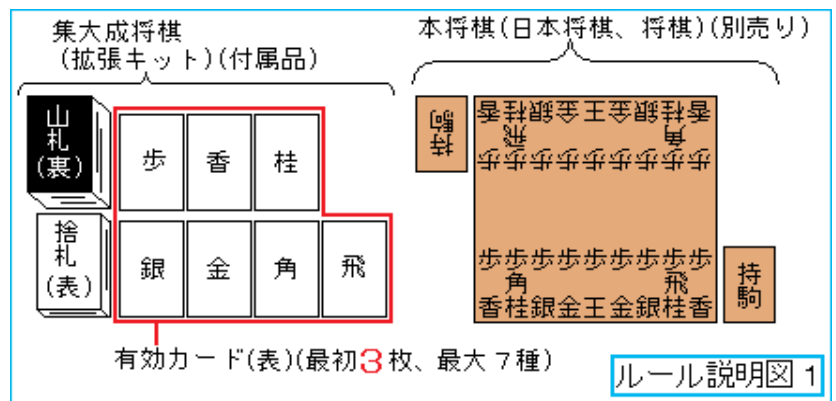
「駒の移動」「持ち駒を打つ」の他に、

「ドロー」

(射程移動または矢印移動で王手を受けていなければ、手番を消費して、「山札」からカードを1枚引く)  
 (射程移動、矢印移動の説明は2ページに後述。)ができます♪

●ドローしたカードについて

ドローしたカードは、ただちに公開します。  
 ドローした人には、カードの「有効無効選択権」があります。



●「歩」「香」「桂」「銀」「金」「角」「飛」のカードをドローした場合

- 「カード無効を選択」→ドローしたカードは、「捨札」に捨てられます。
- 「カード有効を選択」→ドローしたカードを「有効カード」として置きます。  
 「有効カード」の種類(歩香桂銀金角飛)が重複したら、  
 「種類が重複した古い有効カード」は、「捨札」に捨てられ、カードの効果も失います。

●「カード無効化」のカードをドローした場合

- まず、「カード無効化」のカードを「捨札」に捨てます。
- 「カード無効を選択」→何も起きません。(「有効カード」が1枚も無い場合は、「無効」しか選択できません。)
- 「カード有効を選択」→すでにある「有効カード」1枚を選んで、「捨札」に捨てます。  
 (結果として、駒1種の動きを本将棋の動きに戻します。)

●「山札」が0枚になった場合

ただちに「捨札」をシャッフルして伏せて「山札」とします。

★「集大成将棋」の<勝利条件><敗北条件(禁手)><成りの概念>

- <勝利条件>:敵王を取ったり等して、盤上から無くす。(「詰み」の概念はありません。「投了」は可能♪)
- <敗北条件(禁手)>  
基本的に本将棋(日本将棋、将棋)と同じですが、  
「打ち歩詰めOK」、「移動不可能な駒が盤上にあるOK」となり、これらは禁手になりません。
- <成りの概念>  
「敵陣での移動開始または移動終了」が成りの条件となります。(敵陣通過では成れません。)

★「集大成将棋」の「駒の移動」「持ち駒を打つ」の流れ

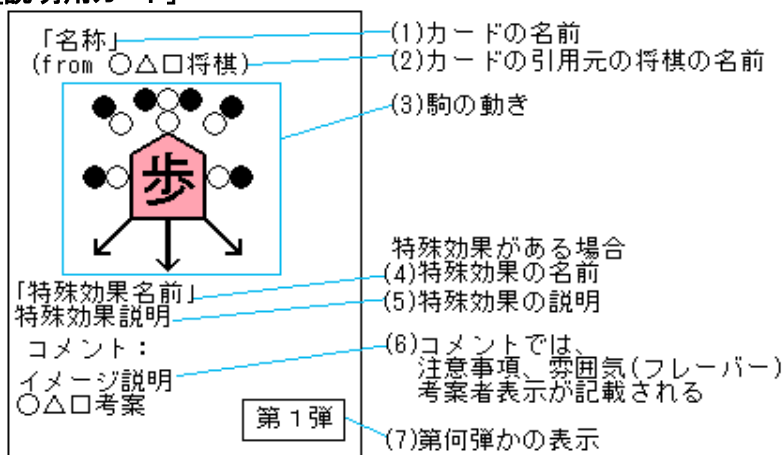
「駒の移動」については、基本的に以下の順番で行います。(「持ち駒を打つ」場合は(3)(4)を除いたものになります。)

- (1)移動先の指定(打つ先の指定)
  - (2)二歩判定などの禁手の確認
  - (3)相手の駒を取る
  - (4)成り/不成の決定
  - (5)ここまで禁手がなければ、<勝利条件>の確認
- この間、禁手は常に確認します。  
(1)よりも先に確認します。

★カードの読み方(概要)

「(3)駒の動き」の部分に書かれている文字の駒が、効果の対象となります。  
(例)説明用カードは、「歩」(および「と」)に効果を及ぼす「歩」カードに分類されます。  
カードは、駒の表と裏の両方に効果を及ぼしますが、駒の文字の記載がない場合は、カードの効果はなく、本将棋のままとなります。  
(例)説明用カードの場合  
「歩」:記載があり、動きが変更されます。  
特殊効果があれば使えます。  
「と」:記載がなく、動きは本将棋のままです。  
**特殊効果も使えません。**

【説明用カード】



★駒の動きの記載方法

将棋の駒の移動には、基本的に以下の2通りが存在します。  
■矢印移動(香、飛、角など)(途中で駒がなければ進み続けられる移動)  
■射程移動(歩、桂、銀、金、王など)(駒を飛び越えて進む移動)

**【重要】本将棋で1マスしか進めない移動は、全て射程移動の扱いになります。**

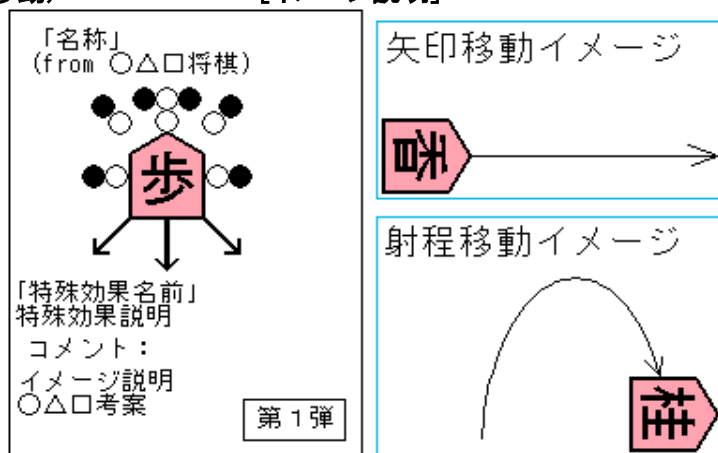
駒の動きの記載方法は、以下のとおりとなります。

- ←マーク: 矢印移動
  - マーク: 射程移動できるマス
  - マーク: 移動できないマス(射程移動説明用)
- 数字付き矢印は、数字分しか進めない矢印移動です。  
(例)←2-マーク: 矢印移動だが最大2マスしか進めない

なお、射程移動の記載方法ですが、  
**将棋の駒は歴史的に8方向に進むを前提としており、各方向ごとの射程移動を記載しています。**

(例)説明用カードの場合、  
横&斜め前方へは2マス先に射程移動、  
前方へは2マス進んだ先の1マス横への射程移動(桂馬の動きと同じ)となります。

【イメージ説明】



駒の動きが書いていないカードの取り扱い

本将棋の駒の動きと同じとなります。(本将棋の駒の動きに、特殊効果が足された駒の場合に多いです。)  
本当に動けない駒の場合は、「この駒は動けません」と記載がされています。

★特殊効果について

基本的に「(5)特殊効果の説明」の文章に書かれているとおりとなります。以下の表現の違いにご注意ください。

- 「～出来ます。」:しなくてもOKです。するしないの選択権があります。
- 「必ず～」:強制的にしなければなりません。

★免責事項

「ルール」「カードの表記内容」に重大な欠陥が見つかった場合は、  
「ルール」「カードの表記内容」が変更される可能性もあります。ご了承お願いいたします。